

経費回収率向上に向けたロードマップ

国土交通省「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進について」（令和2年7月21日付け国水下企第34号）に基づき、経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。

経費回収率向上に向け、下水道使用料の検証を行った結果、河南町が今後も国庫補助を受け続けるためには下水道使用料の改定が必要になることが見込まれました。

今後、経費回収率80%以上を達成するために、下水道使用料の改定を含めた経営改善を考えていく必要があります。

また、毎年度計画数値と決算を比較することで、どの程度乖離が生じているかを把握し、重要指標による評価を行い、経営の適切性について検証していきます。

(1) 経営戦略の目標

本町の下水道事業が将来にわたり持続的・安定的な汚水処理サービスを提供し続けていくには、財政状況を健全に保ちながら、計画的な投資を進めるために、計画期間中の経営目標を以下のとおり設定しました。

指標等	令和5年度 (実績)	令和11年度 (目標)	令和16年度 (目標)
経常収支比率 (%)	100.01%	100%以上	100%以上
経費回収率 (%) (料金改定が行えた場合)	64.01%	70%以上	80%以上
経費回収率 (%) (料金改定が行えなかった場合)		80%以上	80%以上
経常収支比率を引き続き100%以上を維持します。また、経費削減の取組み、下水道使用料の改定等によって、経費回収率の改善を図ります。			

(2) 経営戦略の事後検証

経営戦略の計画期間は令和2年度から令和12年度の10年間ですが、「経営戦略策定ガイドライン」（総務省）では、その推進にあたり毎年度進捗管理（モニタリング）を行うとともに、3年から5年に一度見直し（ローリング）を行う必要があるとされています。

(3) 経費回収率向上に向けたロードマップの推進と点検、進捗管理の方法

経費回収率向上に向けたロードマップの推進のため、毎年度目標指標の達成状況を把握することで進捗管理を行います。

また、少なくとも5年に一度、下水道使用料改定の必要性について検討するなどして下水道事業の持続可能性の確認を行います。また、「計画 (Plan) - 実施 (Do) - 検証 (Check) - 見直し (Action)」を導入し、目標の達成状況等の確認や、改善策及び使用料改定の水準にかかる検証を行います。

(4) 経費回収率向上に向けたロードマップ

区分	概要	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
経営戦略の改定	投資財政計画の見直しを通じて、下水道事業の経営を見直す。		改定					改定					改定
経費回収率向上に向けたロードマップの改定	投資財政計画を踏まえて、料金水準が適切であるか精査する。	策定						改定					改定
施策													
ヒト	技術者研修等への積極的な職員派遣	継続											
	広域連携による人材育成の共同化	検討											
モノ	ストックマネジメント計画に基づいた点検調査等の推進	継続											
	点検調査修繕の包括的委託	継続											
	ウォーターPPPの導入検討	検討											
カネ	ICT活用（遠隔監視）による施設管理の効率化	継続											
	接続促進（水洗化率向上）による使用料収入の増加	継続											
	下水道使用料の改定	検討							検討				検討